

定例公安委員会の開催状況について

令和5年5月18日に、第14回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 6月の行事予定

6月の行事予定について説明があった。

2 地域課「鉄道警察隊」の活動状況等について

地域課「鉄道警察隊」の活動状況等について報告があった。

委員のコメント

- 常日頃から駅構内の様子を把握することで、普段とは違う物が置かれているなど異変に気が付く目を養うことが重要である。
- 駅職員等関係者と緊密に連携して、交流を深めることにより、駅を利用する人々の安全安心を維持する意識・環境作りに努めてほしい。

3 令和4年度 交通安全施設の整備状況について

令和4年度交通安全施設の整備状況について報告があった。

委員のコメント

- スムーズ横断歩道の設置に加えて、環境によっては学校の敷地内にスクールバスの乗降場所を設置できれば、通学する児童生徒の危険度はさらに減るものと思う。また、可変式速度標識については、安全な速度が保たれるよう、道路や天候の状況に応じて、適切に変更する必要がある。
- 信号機の新設の検討に際しては、警察署協議会の意見を吸い上げるなどして、効果的な設置にしてほしい。
- 山形県は、除雪の影響で横断歩道が剥がれて見えにくくなる。引き続き早期補修による安全確保に努めてほしい。

4 指揮支援合同研修会の実施結果について

本年5月10日、警察本部において、警察、消防、陸上自衛隊と実施した指揮支援合同研修会について報告があった。

委員のコメント

- 今後も定期的に災害対処訓練を行い、万全な災害対策を講じてほしい。
- 指揮系統の訓練をすることは非常に重要と感じる。警察や消防などがそれぞれの持ち味を発揮するためには、このような貴重な機会に練度を高め、連携を密にすることが円滑な災害救助活動につながるものと思う。
- 指揮支援研修は、災害救助の肝となる重要な訓練と思う。今後の災害対策に役立てていただきたい。